

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	血清尿酸値が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の重症度に関連するか		
1. 研究の目的と方法	肥満、糖尿病、高血圧は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の重症化の危険因子であることが知られていますが、そのメカニズムは不明です。メタボリックシンドロームの患者さんは、COVID-19が重症化するリスクが高いと考えられています。高尿酸血症は肥満に伴う生活習慣病の一種ととらえられておりますが、高尿酸血症がCOVID-19の重症化リスクであるかどうかは定かになっておりません。そこで、当院においてCOVID-19にて入院加療を要した患者さんを対象に、入院前の高尿酸血症の存在がCOVID-19重症化リスクと関連しているかを検討します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	当院において2020年1月から2022年12月にCOVID-19の診断にて入院した患者さんのうち、入院12カ月以内に血清尿酸値が測定された方を対象とします。ただし18歳未満の患者さん、透析を受けられている患者さん、入院6か月以内の血清尿酸値を測定していない患者さんは除外します。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用いたしません。	
	(2) 試料の取得の方法	血液検査のデータを使用いたします。新規で血液を採取することはいたしません。	
	(3) 情報の種類	下記のデータを使用します。 患者基本情報：年齢、性別、身長、体重、 高血圧、高脂血症、糖尿病、慢性肺疾患、心血管疾患、 悪性腫瘍の病歴、免疫抑制剤、利尿剤、尿酸降下薬の薬剤歴 収縮期および拡張期血圧、酸素飽和度、脈拍 血液検査データ（BUN、Cr、HbA1c、T-Cho、LDL-C、LDH、Alb、血液ガス）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科
		氏名	菅野 直希
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	腎臓・高血圧内科 丸山 之雄		

	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2024年5月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 研究責任者：助教 菅野 直希（すがの なおき） 電話番号：03-3433-1111（内線 3221） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。